ライフデザインだより

第１２１号　令和４年１１月

発行　小松高校ライフデザイン科

朝晩の冷え込みが強まり、木々の紅葉も進んでいる今日この頃ですが、中学生のみなさんは、いかがお過ごしですか？各高校からの学校説明会も始まり、志望校を決定するにあたって悩んでいる人もいるかもしれませんね。今月号でも、小松高校ライフデザイン科の日々の様子を掲載していますので、ぜひ進路選択の参考にしてください。

小松高祭　１０月２８日(金)

小松高祭（文化祭）が１０月２８日（金）に実施されました。

ライフデザイン科展では、授業で製作した１年生から３年生までの様々な作品が並びました。被服分野では、巾着袋、シャツ・ブラウス、じんべい、ジャケット等、食物分野では、食物調理技術検定１級作品、世界の料理調べ等、保育分野では、壁紙、折り紙で作ったリース、おもちゃ等、福祉分野では、アイデアコンテスト作品、ユニバーサル絵本、ちぎり絵等、そして、昨年度まで活動してきた地域協働事業の継続として、椿や魚食文化研究に関する作品も展示され、二つの教室が数々の作品で彩られました。

そして、恒例となったファッションショーです！ランウェイで、自分が製作した作品の着用し、堂々と歩く姿は、さすが３年生！！華やかなステージとなりました。

職業学科連携ネットワーク校魅力化推進事業　３校（東予・丹原・小松）連携

昨年度から東予高校、丹原高校と連携を図りながら活動してきた魅力ある学校づくり推進事業の目標としていた多肉植物の寄せ植え販売を小松高祭で実施しました。当日は、丹原高校、東予高校の生徒もやってきて、みんなで販売の準備、運営、片付けを行いました。

被服製作技術検定１級（和服）　３年生　１１月１２日（土）

３年生が、被服製作技術検定１級（和服）を受検しました。１級（和服）は、「ゆかた」の製作です。事前準備で、「ゆかた」の右半身を製作しておき、制限時間４時間以内で、ゆかたの左半身を作り上げ、完成させます。ミシン縫いもありますが、ほとんどは手縫いの作業で、長時間黙々と作業をしなければなりません…。折れそうな心と闘いながら完成を目指します。この検定が高校生活最後の検定になる生徒もいて、この３年間で培ってきた技術、忍耐力、根気強さをフルに発揮し、完成させました！後は結果を待つのみ。受検終了時には、疲れの中にも達成感や充実感に満ちた表情が見られました！

えひめ未来マイスター育成事業（宇和町研修）　２年生　１０月２０日（木）

えひめ未来マイスター育成事業の一環として、２年生が、宇和町へ研修に出かけました。愛媛県歴史文化博物館、開明学校、宇和民具館、ぞうきんがけレースで有名な宇和米博物館を見学し、昔の人々の暮らしについて学びました。歴史文化博物館では、職員の方から戦時中の人々の暮らしについて詳しく説明していただき、千人針やおもちゃ、防空頭巾、もんぺなどの衣服の実物を見せていただきました。戦時中の不自由な生活や命が奪われる悲惨さ、家族の想いを知り、改めて「平和」であることの大切さを感じました。そして、今後も「平和」でなければならないと強く感じました。１日を通して、今現在の生活を見直したり、未来の生活を考える有意義な研修となりました！

防空頭巾ともんぺ試着

開明学校

宇和民具館

宇和米博物館の廊下

魚料理教室　～あじの南蛮漬け～　１年生　１１月１５日（火）

１年生が、あじの三枚おろしに挑戦しました！「ぜんご」をとり、うろこをはがし、頭を除き、内蔵を取り出し、三枚におろします。今年の１年生には、今までに魚をおろした事がある人が数名いました。講師の先生に目の前でおろし方を実演していただいたので、とてもわかりやすく、最初はおそるおそるでしたが、全体的にスピーディーに作業が進みました。おろしたあじを油で揚げ、身は、南蛮漬けにしました。真ん中の骨も素揚げにし、骨せんべいとして食べました。ぱりぱりして、とてもおいしかったです！油で揚げると骨も捨てずに食べることができるんだと思いました。

※「ライフデザインだより」の他に、小松高校ホームページでも、ライフデザイン科の日々の様子を紹介していますので、ぜひご覧下さい！！